



ふれあい俳句教室

8月29日（火）に、地域の方を講師にお招きし、「ふれあい俳句教室」を行いました。俳句への取組は、子どもたちの感性や語彙力を高めるとともに、地域の歴史・文化を大切にする心を育むために有意義な活動であり、本校では、地域の特色を生かした取組として、伝統的に行っています。

本来であれば、「古今集の庭」に向向いて行う予定でしたが、あいにく出発間際に大雨となったため、今回は各教室でご指導をいただきながら各自が2句ずつ俳句を詠みました。子どもたちの感性はとても豊かで、大人では思いつかないような素敵な句がたくさんできました。出来上がった句は、11月の「門出のまつり」の俳句として出品します。

ご協力いただきました12名の講師の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

2学期がスタートして1週間が経ちました。学校では「ゆるやかな学期スタート」ということで、30日までは短縮授業を実施しました。長い休み明けは生活リズムが整わず、しんどさを感じている子どもさんもいるかもしれませんが、ご家庭の子どもさんの調子はいかがでしょう？

8月25日（金）の始業式では、「1学期よりすてきな自分になろう」という話をしました。もう一度新たなスタートに立って、1学期にがんばったことはさらに継続し、課題であったことは改善し、心・体・学習のそれぞれにおいて自分を高めていってほしいと思います。

毎日を元気に過ごすためには、生活リズムを整えることが大切です。今週は「生活リズムチェックカード」の取組を実施しますので、各ご家庭でも声掛けをしていただければ幸いです。特に、「朝ごはん」は熱中症予防に必要な水分・塩分を補給する点においても非常に大切だと言われています。朝食をしっかり取るためには、早寝・早起きも大きく関係してきます。また、「ゲーム等の時間」も改めてご家庭でのルールを確認し、やり過ぎにならないように注意したいものです。ご家庭でのご協力をよろしく願いいたします。

「紀貫之探訪の旅」に行ってきました(6年生)

8月26日(土)に6年生が、滋賀県の比叡山にある紀貫之の墓参を行う「紀貫之探訪の旅」に行ってきました。本校の歴史・文化と大きな関わりのある「土佐日記」の作者、紀貫之の墓参を行うこの旅は、大変意義深い活動であり、地域の方々や俳句の先生方にお世話になり実施しています。今年では4年ぶりの正式開催となりました。

行きのバスの中では、紀貫之や俳句についてのお話をいただきながら墓参への思いを高め、比叡山に到着すると、高知県大阪事務所や京都高知県人会の方々に温かく迎えていただきました。ケーブルカーで移動した先は、琵琶湖が一望できる素晴らしい眺めでした。

その後、比叡山の見学、僧侶からのお話をいただき、徒歩で紀貫之のお墓に向かいます。木漏れ日あふれる木の根道を進み、20分程で到着です。お墓の掃除・お供えをし、各自が手を合わせました。貫之さんが赴任した地で元気に過ごしていることを報告したことでしよう。そして、これまで練習を重ねてきた「土佐日記」の暗唱を墓前で行いました。静かな山中に子どもたちの声が響き渡り、何とも素敵な時間でした。貫之さんもさぞ喜ばれたことでしょう。

帰りの車中では、見てきたこと・感じてきたことをもとに俳句作り。先生方のご指導をいただきながら、全員が2句の俳句を作ることができました。

千年以上もの時を経て、今を引き継ぐ本校の子どもたちがこの地を訪ねることは、大変意義深いことであり、地域に誇りを持ち地域の歴史や文化を大切にすることを育成するために、今後も大事にしていきたい活動です。

同行していただいた皆様、事前準備等も含め、本当にありがとうございました。



現地の方々に挨拶



貫之さんのお墓をきれいに



貫之さんのお墓をきれいに

新しい先生の紹介

養護教諭の溝渕あゆみ先生が産休に入ったため、代替として9月1日より佐々木 桃香(ささきももか)先生が着任しました。

子どもたちに寄り添いながら保健室経営や指導・支援に当たってくれることと思います。よろしく願いいたします。

4年 〇〇〇〇
かみを切りに行くと、お店に新しいネコがいました。名前はトトです。生後十一カ月の子ネコです。
かみを切ったあと、ネコじゃらしてトトと遊びました。ジャンプ力が高かったので、本当に生後十一カ月かなと思いました。
たくさん遊べて、楽しかったです。目が、ビー玉みたいになりました。

子ども高知新聞「読もっか」に掲載されました

8/27 (日)